

解 答 速 報



関西医科大学 一般選抜後期

数学

医学部受験予備校
医特

1

$$(1) \overrightarrow{AM} = \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2}$$

$$(2) R \text{は} AM \text{上より} \overrightarrow{AR} = k\overrightarrow{AM} = \frac{k}{2}\vec{a} + \frac{k}{2}\vec{b}$$

$$R \text{は} PQ \text{上より} \overrightarrow{AR} = s\overrightarrow{AP} + (1-s)\overrightarrow{AQ} = s\frac{m}{m+n}\vec{a} + (1-s)\frac{n}{m+n}\vec{b}$$

$$\vec{a}, \vec{b} \text{は互いに平行でなく, } \vec{0} \text{でもないので, } \begin{cases} \frac{sm}{m+n} = \frac{k}{2} \\ \frac{(1-s)n}{m+n} = \frac{k}{2} \end{cases}$$

これを解くと, $s = \frac{n}{m+n}, k = \frac{2mn}{(m+n)^2}$ となるので,

$$\overrightarrow{AR} = \frac{mn}{(m+n)^2}(\vec{a} + \vec{b})$$

$$(3) (2) \text{より} \frac{AR}{AM} = k = \frac{2mn}{(m+n)^2}$$

(4) 線分PQ上の点をSと置くと,

$$\overrightarrow{AS} = \alpha\overrightarrow{AP} + (1-\alpha)\overrightarrow{AQ} \text{とおける。}(0 \leq \alpha \leq 1)$$

$$\text{よって, } \overrightarrow{AS} = \alpha\frac{m}{m+n}\vec{a} + (1-\alpha)\frac{n}{m+n}\vec{b}$$

$$S \text{が重心と一致すると仮定すると} \quad \overrightarrow{AS} = \frac{1}{3}\vec{a} + \frac{1}{3}\vec{b}$$

$$\text{よって, } \begin{cases} \frac{1}{3} = \frac{\alpha m}{m+n} \\ \frac{1}{3} = \frac{(1-\alpha)n}{m+n} \end{cases}$$

$$\frac{\alpha m}{m+n} = \frac{(1-\alpha)n}{m+n} \text{を解くと, } \alpha = \frac{n}{m+n}$$

$$\text{このとき, } \frac{1}{3} = \frac{mn}{(m+n)^2}$$

$$m^2 - mn + n^2 = 0 \text{ となり, } m > 0, n > 0 \text{ より}$$

$$m^2 - mn + n^2 = \left(m - \frac{n}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}n^2 > 0 \text{ となり, これを満たす } m, n \text{ は存在しない。}$$

以上より線分PQは三角形ABCの重心を通らない。

2

(1) $f(x)=0$ (2) $f(0)=0, f(1)=0$

(3) $f(x) = \frac{(1-t^2)x^2 + (t^2-1)x}{(t^2-1)x+1} = (1-t^2) \cdot \frac{x^2-x}{(t^2-1)x+1}$

$$f'(x) = (1-t^2) \frac{(2x-1)\{(t^2-1)x+1\} - (x^2-x)(t^2-1)}{\{(t^2-1)x+1\}^2}$$

$$= (1-t^2) \frac{(t^2-1)x^2 + 2x - 1}{\{(t^2-1)x+1\}^2}$$

$$= (1-t^2) \frac{\{(t+1)x-1\}\{(t-1)x+1\}}{\{(t^2-1)x+1\}^2}$$

(i) $t = \pm 1$ のとき $f(x) = 0$ より極値を持たない。

(ii) $t \neq \pm 1$ のとき, $f'(x) = 0$ を満たす x は $\frac{1}{t+1}, \frac{1}{1-t}$

ア) $0 < t < 1$ のとき

x	0	...	$\frac{1}{t+1}$...	1
$f'(x)$		-	0	+	
$f(x)$		↘	極小	↗	

イ) $1 < t$ のとき

x	0	...	$\frac{1}{t+1}$...	1
$f'(x)$		+	0	-	
$f(x)$		↗	極大	↘	

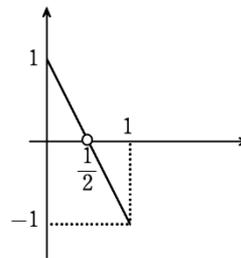
よって, 極大値を取る t の範囲は $1 < t$, 極小値を取る t の範囲は $0 < t < 1$

(4) $f\left(\frac{1}{t+1}\right) = \frac{\frac{1-t}{t+1} + t - 1}{t} = \frac{(1-t)(-t)}{t(t+1)} = \frac{t-1}{t+1} = 1 - \frac{2}{t+1}$

$$x = \frac{1}{t+1} \quad (0 < t < 1, 1 < t \text{ より}) \quad \frac{1}{2} < x < 1, 0 < x < \frac{1}{2}$$

$$y = 1 - \frac{2}{t+1}$$

よって, $y = 1 - 2x$ ($0 < x < \frac{1}{2}, \frac{1}{2} < x < 1$)



3

$$(1) P_n = \left(\frac{m-1}{m}\right)^{n-1} \cdot \frac{1}{m}$$

$$(2) E_n = \sum_{k=1}^n kP_k = \frac{k}{m} \cdot \left(\frac{m-1}{m}\right)^{k-1}$$

$S(n) = 1 \cdot 1 + 2 \cdot r + 3 \cdot r^2 + \dots + n \cdot r^{n-1}$ とおくと、

$rS(n) = 1 \cdot r + 2 \cdot r^2 + \dots + (n-1)r^{n-1} + nr^n$ より

$(1-r)S(n) = 1 \cdot 1 + 1 \cdot r + 1 \cdot r^2 + \dots + 1 \cdot r^{n-1} - nr^n$

$$= \frac{1-r^n}{1-r} - nr^n = \frac{1-(1+n-nr)r^n}{1-r}$$

$$S(n) = \frac{1-(1+n-nr)r^n}{(1-r)^2}$$

$$\text{よって, } E_n = \frac{S\left(\frac{m-1}{m}\right)}{m} = \frac{1}{m} \cdot \frac{1 - \left(1 + n - \frac{m-1}{m}n\right) \cdot \left(\frac{m-1}{m}\right)^n}{\left(1 - \frac{m-1}{m}\right)^2}$$

$$= m \left\{ 1 - \frac{m+n}{m} \cdot \left(\frac{m-1}{m}\right)^n \right\}$$

$$= m - (m+n) \cdot \left(\frac{m-1}{m}\right)^n$$

(3) 求める期待値は $\lim_{n \rightarrow \infty} E_n$ である。

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{m-1}{m}\right)^n = 0 \text{ であるので, } \lim_{n \rightarrow \infty} m \cdot \left(\frac{m-1}{m}\right)^n = 0$$

$$0 < \frac{m-1}{m} < 1, \lim_{n \rightarrow \infty} nr^n = 0 \text{ より } \lim_{n \rightarrow \infty} n \cdot \left(\frac{m-1}{m}\right)^n = 0$$

$$\text{よって, } \lim_{n \rightarrow \infty} E_n = m$$

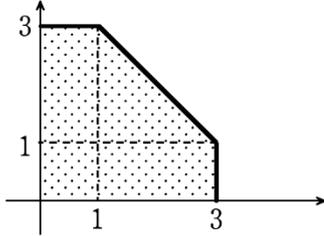
4

(1) $z=t$ の断面を考える。 $(-3 \leq t \leq 3)$

$$|x| \leq 3, |y| \leq 3, |x| + |y| \leq 4, |x| + |t| \leq 4, |y| + |t| \leq 4, |x| + |y| + |t| \leq 5$$

このとき、 $(x, y) = (a, b)$ で条件を満たすならば、 $(x, y) = (a, \pm b), (-a, \pm b)$ でも成り立つので、まずは yz 平面の第一象限の領域を考える。…①

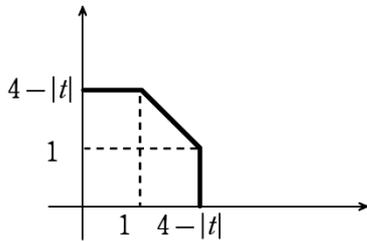
(i) $-1 \leq t \leq 1$ のとき



この領域の面積は長方形+台形と考えて

$$3 + \frac{1}{2}(1+3) \cdot 2 = 7$$

(ii) $1 \leq t \leq 3, -3 \leq t \leq -1$ のとき、



この領域の面積は長方形+台形と考えて

$$4 - |t| + \frac{1}{2}(4 - |t| + 1)(3 - |t|) = \frac{1}{2}(t^2 - 10|t| + 23)$$

以上より①を踏まえると、

$$\frac{V}{4} = \int_{-1}^1 7 dt + \int_{-3}^{-1} \frac{1}{2}(t^2 - 10|t| + 23) dt + \int_1^3 \frac{1}{2}(t^2 - 10|t| + 23) dt = \frac{86}{3}$$

$$V = \frac{344}{3}$$

※ $t \geq 0$ についてのみ言及し、 $\frac{V}{8}$ を求めた方が計算課程は楽であるが、 $-3 \leq t \leq 3$ について考えたときに(ii)において、 $|t|$ と書き損じている受験生もいるのではないかと思い、今回はこちらを採用した。

(2) (1)より、立体Tの $x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0$ を図示すると

右図のようになるので、

A_1, A_2, A_3 は正方形であるので、

面積はそれぞれ $1 \times 1 = 1$

B_1, B_2, B_3 は長方形であり、 B_1 の yz 平面上の頂点を考えると $(0, 1, 3), (0, 3, 1)$ であるので

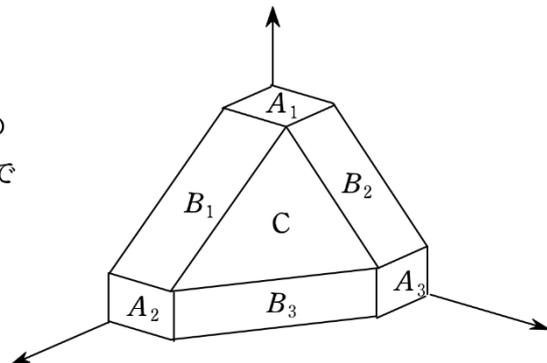
面積はそれぞれ $1 \times 2\sqrt{2} = 2\sqrt{2}$

Cは1辺の長さが $2\sqrt{2}$ の正方形であるので

面積は $\frac{1}{2}(2\sqrt{2})^2 \sin 60^\circ = 2\sqrt{3}$

以上より表面積は

$$(3 + 6\sqrt{3} + 2\sqrt{3}) \times 8 = 24 + 48\sqrt{3} + 16\sqrt{3}$$



【講評】

- 大問1 平面ベクトルの問題。文字は多いが、具体的な数値の問題であれば実に簡単な問題である。文字になってもきっちり解き切る問題慣れが必要であった。
- 大問2 微分（数Ⅲ）計算は面倒である。くくるところをキチンとくくれば許容範囲の計算量であるが、計算の工夫をせずに全て展開する等で行うとかなりの時間を要したであろう。
- 大問3 確率の問題。(2)は等差×等比の和で少し式が複雑であるので計算力が試される。(3)は極限の問題であり、定数と変数をキチンと判別して考えればできるが、差の付く問題であったかもしれない。
- 大問4(1)の体積ができたかどうかは合否に大きく関わるだろう。(2)はできたと思っている受験生でも線分の長さを積分して失敗した方が多かったのでないか。図を想像することも踏まえると厳しかったであろう。

目標は6割5分。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F	大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F
個別専門館 麹町FC校 TEL : 03-6272-4175 東京都千代田区二番町 8-20	提携校 医学部特訓塾 TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F	